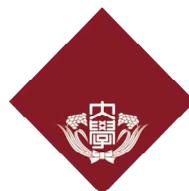


# 社会人の学び直しについて 早稲田大学の取組事例



WASEDA University  
早稲田大学

2017年10月30日

早稲田大学教務部長 古谷修一  
(法学学術院教授)

# 建学当初からの学問普及の取り組み

## ◆「早稲田講義録」の発刊

⇒1886年から70年間で200万人を超える購読者

創立から4年後に校外教育制度を定め、講義録を用いた通信教育を開始。

中学校や女学校への進学も簡単ではなかった時代、全国津々浦々、海外へも送り届けられた早稲田の講義録は、学校に通うことのできなかった人々に学びの機会を提供した。

※受講者：第四代総長田中穂積、歴史学者津田左右吉、政治家田中角栄ら。

## ◆「巡回講話」の実施

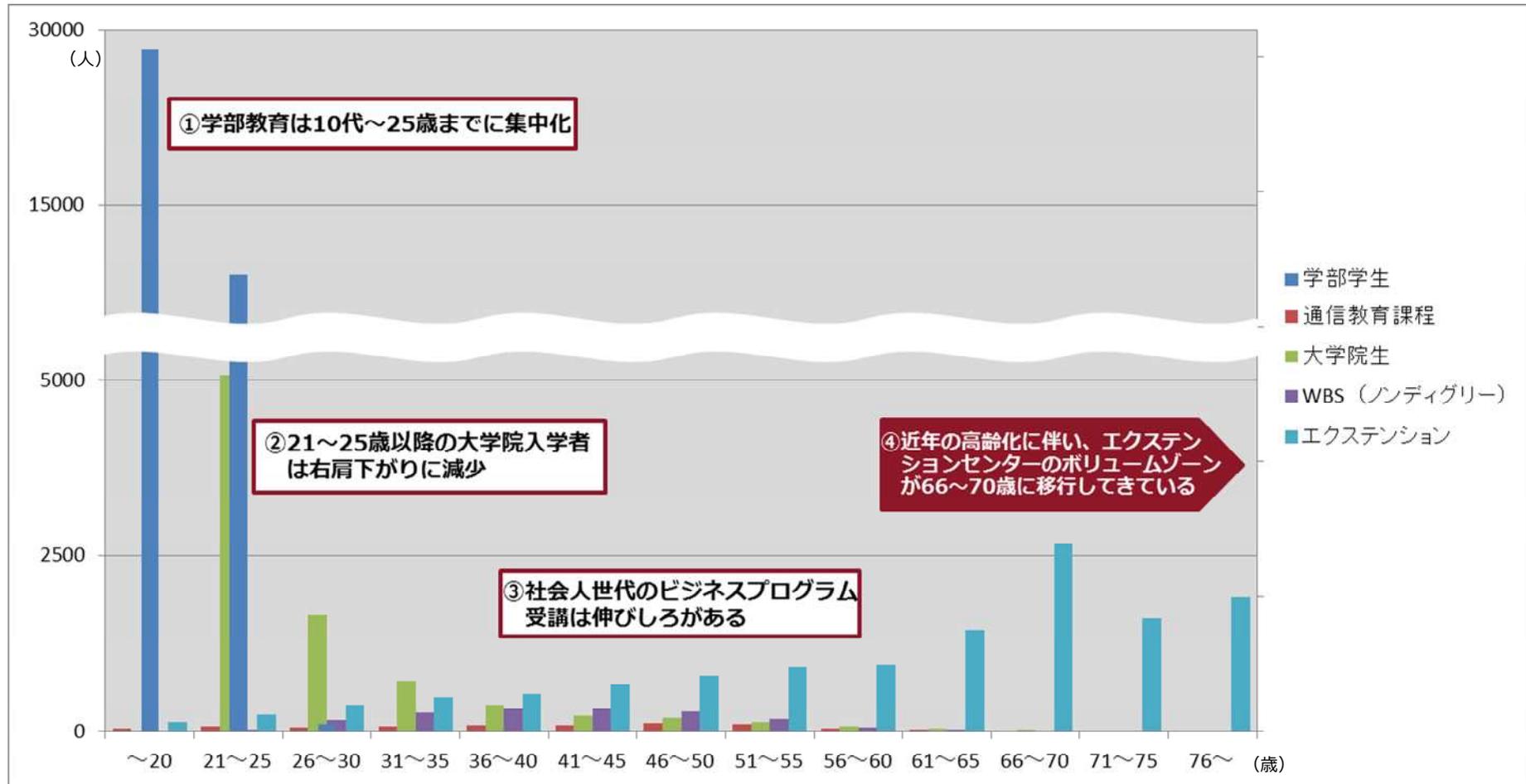
教員が全国各地に赴いて講義を行い、学問の普及につとめてきた。



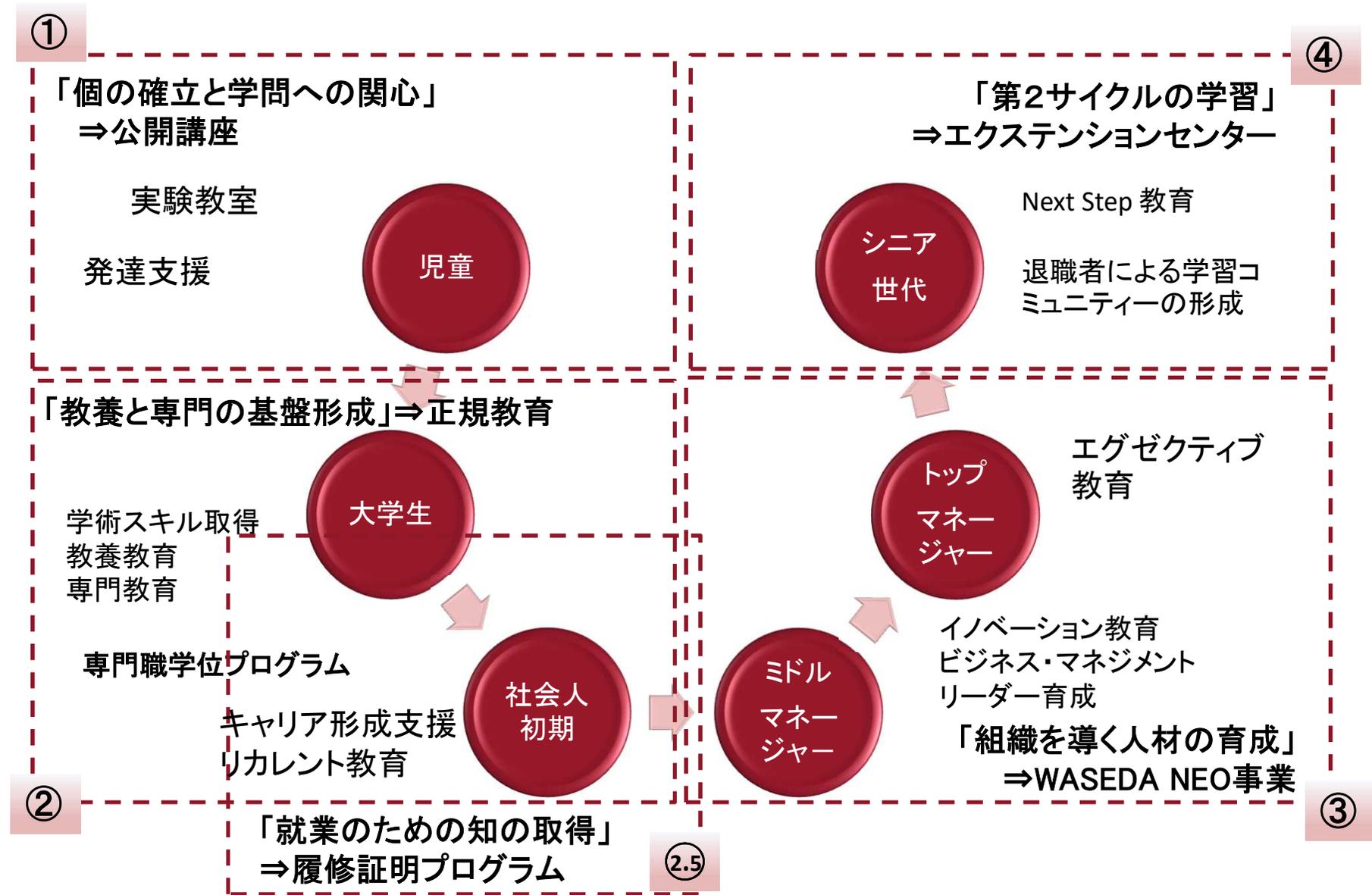
## ◆現在の社会人教育

- (1) 専門職大学院を中心とする正規教育
- (2) エクステンションセンター
- (3) WASEDA NEO
- (4) 履修証明プログラム

# 早稲田大学学生/受講生の年齢構成（2016年度）



# 社会人教育の4つの柱と主な各世代のニーズ



# 社会人教育 4 つの柱の関係

